

あさくち 議会だより

No.47

令和2年10月1日発行



令和2年 9月定例会

- 7月臨時会 ②
- 9月定例会 ②
- 委員会レポート ④
- 市政を問う！一般質問 ⑤

臨時会

臨時会は、7月17日から20日までの4日間の会期で行い、新型コロナウイルス感染症に対する緊急経済対策を含む、1億6,465万円を増額する一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

主な内容

事業名	事業の概要	補正額
事業者応援補助金	「新しい生活様式」に対応する新たな取り組みを行う事業者を支援するための補助金	3,000万円
キラリと光る未来プロジェクト事業	小・中学校のオンライン授業環境の整備や情報機器端末の整備など	3,212万円
ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	ひとり親世帯の負担増加や収入減少に対する支援を行うための給付金	3,123万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

9月定例会は、8月25日から9月10日までの17日間の会期で行われました。

9月定例会

2億2,055万円を増額補正 令和2年度一般会計予算の総額は 195億9,237万円



小・中学校のオンライン授業環境の整備



板峠目鑑線（金光町上竹）の復旧

補正予算

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費／ 民生費／ 教育費	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業	「新しい生活様式」に対応するための市職員のテレワーク環境整備や、小・中学校のオンライン授業環境の整備など	2,847万円
災害復旧費	豪雨災害復旧事業	令和2年6月～7月の豪雨災害による被災箇所の復旧	5,000万円
諸支出金	住吉満教育基金積立金	住吉満氏から受けた寄附金を財源とした基金の積立	1億円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、教育総務費寄附金1億25万円など。

主な議案

条例

○住吉満教育基金条例の制定

【原案可決】

住吉満氏からの寄附金により、市の教育の充実及び振興を図ることを目的とした基金を設置するため、条例を制定するもの。

○税外収入督促手数料及び延滞金徴収

条例及び畑地かんがい施設条例の一部改正

【原案可決】

租税特別措置法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

○企業育成振興条例の一部改正

【原案可決】

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

人事

○人権擁護委員の推薦意見

【適任】

人権擁護委員に福田澄恵氏、吉岡貴美氏を適任としました。

発議

○市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

【原案可決】

提出者 石井由紀子議員
賛成者 横山達士議員

提案理由(要旨)

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も市の財政運営は厳しくなると予想される。令和2年12月支給の期末手当を10%減額し、今後、感染症の対策に必要な財源の一部を確保するために提案する。

反対討論(要旨)

香取良勝議員

減額したお金が看護師などのところへ行くのであれば賛成するが、どこへ使われるかわからないので反対する。

賛成討論(要旨)

桑野和夫議員

市民の生活、事業者の生活が大変になっている中で、議員としてひとつの姿勢を見せるという意味では必要なことではないか。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

【原案可決】

地方税・地方交付税等の一般財源の確保を強く国に求めるため、意見書を提出するもの。

その他

○財産の取得

【継続審査】

小・中学校で使用するノート型学習端末及び充電保管庫、電子黒板、校内LAN及びセンターサーバー機器の買入れのため契約を締結するもの。

請願

○「日本政府に核兵器禁止条約の調印・

批准を求める」意見書採択を求める請願

【不採択】

提出者 岡山県原爆被爆者会 外1名
紹介議員 沖原有美

反対討論(要旨)

竹本幸久議員

日本の国を守る保守の立場において、政府が一生懸命に考えたうえで執行している。

将来の日本を考えた時に、これは今、急いですべきことなのか。もっと他の議論が必要なのではないか。

賛成討論(要旨)

沖原有美議員

日本は核兵器の恐ろしさを知る唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶の先頭に立たなければならぬ。

未だにこの条約に背を向ける日本政府に対し、地方から声を上げるため、本請願を採択すべき。

○自家増殖を原則禁止とする種苗法改正の取りやめに関する請願

【採択】

提出者 吉田真章
紹介議員 横山達士
採択した請願については、関係機関に意見書を提出しました。

陳情

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるため

の、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

【採択】

提出者 岡山県教職員組合笠岡浅口支部

採択した陳情については、関係機関に意見書を提出しました。

○浅口市個人情報保護条例の改正を求める陳情

【不採択】

提出者 西川津恵美

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

「○」賛成、「×」賛成でない、「-」不参加、「欠」欠席 ※議長は採決に加わりません。

議案名	議員名																
	大西洋平	井上邦男 (議長)	香取良勝	大西恒夫	青木光朗	藤澤健	中西美治	桑野和夫	竹本幸久	佐藤正人	伊藤誠	藤井立子	石井由紀子	横山達士	山下周吾	沖原有美	
発議第6号	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	欠	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第8号	自家増殖を原則禁止とする種苗法改正の取りやめを求める意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第9号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	住吉満教育基金条例の制定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例及び浅口市畑地かんがい施設条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	企業育成振興条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合を組織する地方公共団体数の減少並びに組合規約の一部変更	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	令和2年度一般会計補正予算(第7号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦意見	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	適任
請願第8号	「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める」意見書採択を求める請願	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	不採択
請願第9号	自家増殖を原則禁止とする種苗法改正の取りやめに関する請願	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第8号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第9号	浅口市個人情報保護条例の改正を求める陳情	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

※議案第51号～第54号、財産の取得については継続審査としました。

委員会レポート

総務文教常任委員会

○8月4日

新型コロナウイルス感染症対策の状況について、7月31日現在で特別定額給付金は98・7%の世帯から申請があり、1万4118世帯に支給済み。また、出産支援金は30人に支給済み。コロナに負けるな！地域応援商品券事業は、7月16日に1人あたり1万円分の商品券・食事券を対象者に発送した。市内での感染者発生を受け、食事券取扱加盟店に感染予防対策の徹底を図るとの報告を受けた。

民生常任委員会

○8月5日

新型コロナウイルス感染症対策の状況について、税の徴収猶予の特例については25件、各種保険料等の減免は20件の申請があったとのこと。

また、子育て世帯臨時給付金は3641人分、児童扶養手当受給者への支援金は353人分を支給したことなど報告を受けた。今後の対策・取り組みとして、ひとり親世帯臨時特別給付金、感染症防止対策備品購入、窓口感染防止環境整備などの事業を行うとのことでした。

産業建設常任委員会

○8月6日

一般国道2号玉島・笠岡道路(2号バイパス)の六条院トンネル工事について、現場事務所で工事の概要、工期、施工方法の説明を受けた後、掘削工事中のトンネル内部を視察した。工事延長1200m、うちトンネル延長は1088m。8月現在は約650m付近を掘削している。

年内には六条院西へ貫通する見通しであるが、トンネル工事の完成は令和3年12月の予定であると報告を受けた。



財政特別委員会

○7月15日

審査事件について審議し、浅口工業団地整備事業(A地区)について、本委員会では精査することに決定した。

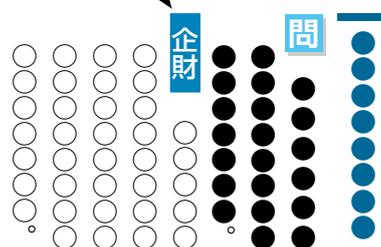
一般質問 市政を問う!

9月定例会では、7人の議員が一般質問で市政を質しました。

質問者	質問項目	ページ
香取良勝	○一般社団法人 moko'a について	6
桑野和夫	○外側線などの引き直しについて ○大雨等による災害対策について ○新型コロナウイルス感染拡大による市内業者の営業や雇用等の影響と生活保護制度について	6
大西恒夫	○水道事業の広域化について ○地域づくり自由枠交付金制度について ○浅口市戦没者追悼式の中止について	7
石井由紀子	○浅口市が取り組む交通安全対策活動について ○市民の健康維持の取り組みについて ○浅口市健康福祉センターの運営について	7
沖原有美	○3密対策における少人数学級について ○豪雨による河川の氾濫防止について ○砂防河川の定点カメラの設置と浚渫 ^{しゅんせつ} について	8
山下周吾	○GIGAスクール構想に基づいて計画されている教育環境の整備について ○市所有の施設について ○防災について ○市庁舎について ○渋滞対策について	8
伊澤誠	○耕作放棄地対策について ○今後の幼稚園・学校運営について	9

寄支所 : 寄島総合支所長
金支所 : 金光総合支所長
会計 : 会計管理者
上下水 : 上下水道部長
産建 : 産業建設部長
健福 : 健康福祉部長
生環 : 生活環境部長
教育次 : 教育次長
企財 : 企画財政部長
教育長 : 教育長
副市長 : 副市長
市長 : 市長

答弁者



注 釈



香取 良勝

一般社団法人moko,a (税金の無駄遣い)について

問 平成29年から今まで、市からいくら支出しているのか。

企財 8月までに支出したものは1805万円余。

問 開示請求したところ今までの総額は2700万円であった。何か隠しているのか。

企財 委託契約、補助金などの交付決定をしたものを含めて、企画財政部で把握している金額は2387万円余。

問 平成29年度に99万7700円の支払いなどがあるが、全部随契している。地方自治法施行令によると、50万円以上は随契してはいけないのでは。

また、仕事内容がわからないため開示請求をすると、黒塗りで提示された。なぜこのようなことをするのか。都合が悪いからではないのか。市民の税金です。今、本当にお

金がなくて困っている人がたくさんいる。委託料、年間500万円も何に使うのか。

企財 開示請求の提出書類は、条例に基づき、個人情報に関わるもの、企業などの経営の秘密に関わるものなどで、不開示に該当する部分が黒塗りになっている。

教育次 岡山天文博物館の受付、売店の管理運営業務(人件費、各種保険料、備品のリース料など)及び施設清掃業務などの委託料で、今年度は534万7611円。

選定の条件に合う指名願の提出業者はmoko,aしかなかった。今後は公募型のプロポーザルも視野に入れていきたい。

問 天文博物館の売店はいくら利益が出ているのか。500万円も払う必要があるのか。赤字ではないのか。

教育次 売店は仕入れもmoko,aが行い、販売収益もmoko,aの収入として入るので、市としては、収益は入っていない。



桑野 和夫

大雨等の災害対策について

問 内水氾濫を防ぐため里見川への排水溝が設置されているがその対応は。また、排水溝の能力は十分か。

金支所 気象情報に合わせて各排水溝に仮設のポンプを事前に設置しており、危険と思われる水位に達した場合に速やかに稼働させる。排水溝能力はポンプの大きさと河川の断面で判断し支障の無い大きさにしていく。今年7月に2回設置し稼働。水位上昇抑制の効果があったと考えている。

問 常設ポンプ設置の考えは。

金支所 県が里見川水系の河川整備計画を策定中であり、その計画の内容を踏まえての検討が必要と考える。ただし、近年の気象状況を見て、今後は一定の期間仮設ポンプを配置しておくことを検討している。

問 玉島にある昭和水門の強制

排水施設設置要望の現状と開閉作業の確認について。

市長 平成30年西日本豪雨以降、水門の改良が必要と認識している。開閉作業について過去に比べて、現在は細かく調整していると聞いている。強制排水施設設置について倉敷市長とともに県知事に直接要望した。引き続き継続的に強く要望していく。

新型コロナウイルス感染拡大と生活保護制度について

問 生活保護業務についての厚生労働省通知について、市の対応は。あわせて生活保護利用に対し「ためらわずに申請を」と市民に呼びかけを。

健福 通知に従って、申請者に対して速やかに申請書の発行と柔軟な対応をしていく。広報紙などで周知を行ってきたがこれからも相談者に寄り添った支援を行っていく。

市長 コロナ禍で市独自の支援を行ってきた。生活保護を含めこれからも支援を行っていく。ためらわず申請をしていただきたい。



大西 恒夫

水道事業の広域化について

問 6月議会で前向きな答弁だったが、その後の進捗はどうか。また、交渉などのロードマップの必要性は。

上下水 広域化には西南水道企業団や構成市町との検討が基本となることから現在、状況確認に努めている。ロードマップについては今後、検討作業が進んだ段階で作成すべきと考える。

地域づくり自由枠交付金制度について

問 金光地域のみ行政協力業務委託契約を締結し、年間5万円の委託金を支出しているが、公平性に問題はないか。

企財 合併前の金光町時代から引き継いだ制度であり、市内の他地域にはない。合併から10年以上経過しており、市

全体の均衡を保ち、統一的な調整が必要と考える。

問 総社市には地域づくり自由枠交付金制度がある。浅口市でも自由度の高い地区交付金を創設すべきではないか。

企財 浅口市が取り組んでいる協議会型住民自治組織の考え方と市民一人当たり5500円の自由度の高い地区交付金は総社市と同様と考えている。

浅口市戦没者追悼式の中止について

問 例年行われている戦没者追悼式が今年は中止となった。戦後75年という節目でもあり、少人数や中継形式でも行事は継続すべきではないか。

生環 新型コロナウイルス感染症拡大の中、浅口市遺族連合会からご意見をいただき、共催の社会福祉協議会とも検討した。参加者は高齢者が多く、健康面・安全面を最優先に考慮しやむなく中止した。市長 中止は、非常に残念。来年度は収束を願い、通常どおり追悼式が開催されることを願っている。



石井由紀子

交通安全対策活動について

問 市が取り組む夕暮れ時から夜間の事故対策は。

企財 ドライバーに歩行者の存在を早めに知らせる反射材を身につけることが有効と考える。広報紙やチラシで呼びかけるとともに、秋の交通安全全県民運動期間中は市内スパーや市庁舎に新たに啓発コーナーを設置し、夜光グッズ活用を意識づける活動を実施する。早めのライト点灯を促すのぼり旗の設置もしており、ドライバーの意識づけもしていく。

問 交通フェアのような体験型のイベントはできないか。

企財 コロナウイルス感染症が収まらない状況での実施は困難。単発的なものより継続的に工夫して活動が続けたい。

健康維持の取り組みについて

問 足と靴の関係の重要性を呼びかける啓発について考えは。

健福 毎年1回開催する健康フェスタで啓発活動を行っている。足指力を測定して個人に応じた筋力アップ体操のチラシを配布している。

足裏の筋力が低下すると全身のバランスが崩れて腰痛、肩こりなど足と関係ないところにも影響がでる。成長に合わせ、足に合った靴を選ぶことが大切になる。

健康福祉センターについて

問 コロナ感染対策で使用が制限された。いまだに使えない施設もある。今後の運営はどうなるのか。

健福 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館していたが、5月28日から再開した。浴場及びトレーニングルームは7割以上の利用者が高齢者であり、感染防止を最優先に考えた結果、引き続き利用を見合わせている。利用者の命を守るための決定です。



沖原 有美

3密対策における少人数学級について

問 少人数学級について、どのように考えているか。

教育次 小・中学校では、文部科学省から示された「学校の新しい生活様式」に沿って3密対策を行っている。

問 少人数学級を実施する場合、人員の確保や教室の確保はどのようにするのか。

教育次 全国的に教員不足が問題になっている。本市でも新たな人員の確保は難しい。非常勤講師を常勤講師に配置換えしたり、教科によっては少人数で授業できるような体制を整えている。

問 今後の実施に向けての見通しは。

教育長 浅口市の現在の感染状況はレベル1と判断している。レベル3や2になった場合を想定して、子どもの学び

を止めないために、分散登校やオンライン授業を組み合わせ、密集を避けて少人数指導ができるよう、準備や研究を進めている。

豪雨による河川の氾濫防止について

問 強制排水施設の能力、維持管理はどのようにしているか。

産建 設計基準として、ポンプを設置する場所へ流れ込んでいる流域及びそのエリアの形状などを解析。降雨強度式をもとに算出し、必要な処理能力を満たすポンプを設置している。

処理能力を超えそうな場合は地元関係者と連携を図りながら、事前に河川の水位を下げたり、仮設ポンプを設置して対応している。

問 バックウォーターによる氾濫が起きそうな箇所はないか。

産建 氾濫が発生するような箇所には、強制排水が行えるポンプを設置するなど対策している。大雨の際には、避難情報を発令するので速やかに身を守る行動をとってほしい。



山下 周吾

GIGAスクール構想に基づいて計画されている教育環境の整備について

問 現在までの整備状況と今後の予定は。

教育次 タブレット端末、教育ソフト、タブレットの充電保管庫、電子黒板については8月7日に、また、小・中学校の校内LANは8月14日に指名競争入札を行い、仮契約を締結している。モバイルルーターの本体については6月補正で、通信料については9月補正で予算計上をしている。

タブレット端末、充電保管庫の導入時期は令和3年1月、電子黒板は令和2年12月を予定。校内LANは9月から順次整備を行う。いろいろな業者からプランの提案があり、市のICT教育に合った整備に向けて準備を進めている。

市所有の施設について

問 Wi-Fi環境について現在の整備状況と今後の予定は。

企財 現在、岡山天文博物館・JR鴨方駅・JR金光駅の3カ所に整備。今後は鴨方図書館・金光さつき図書館・寄島図書館に、今年10月利用開始予定で公衆無線LANの整備を進めている。

市役所本庁舎1階・健康福祉センター・金光公民館・寄島老人福祉センターについては災害時のみ利用できる公衆無線LANを今年度中に整備予定である。

防災について

問 市が作成しているハザードマップはどのように配布されているか。

企財 町内会を経由して6月の広報紙と合わせて配布した。町内会未加入の方もご覧いただけるように市役所・両支所・公民館などにも配備し、市内のコンビニエンスストアや商業施設などにも設置した。



伊澤 誠

耕作放棄地対策について

問 農地転用権限移譲に伴い、

まちづくりの自由度が増すことになるが、今後の計画は。

産建 平成20年度より4 haまでの農地転用許可権限が県から市へ移譲されたものだが、許可基準は変わっていないので具体的な計画はない。

問 耕作放棄地が増えていく中で、農業振興地域の今後の対策や計画はあるか。

産建 平成23年に農業振興地域整備計画の総合見直しを行った。しかし約10年が経ち、そぐわないことも起きている。また、玉島笠岡バイパスの工事や取り付け道路である県道の整備も進む中、開発需要も高まってきている。

計画の変更には県の同意も必要のため、今後の計画について協議を行い、総合見直しについて検討をしていく。

市長 市の今後の発展には農業を振興する地域はしっかりと守りつつ、工業団地やバイパス、インターチェンジ付近、沿線の開発需要が高いエリアでは、農業振興地域の計画について積極的な見直しをする必要がある。

今後の幼稚園・学校運営について

問 保育園の人数が増え、幼稚園の園児数は縮小してきている。現在金光幼稚園だけが3年保育だが、鴨方東、西幼稚園もできないか。

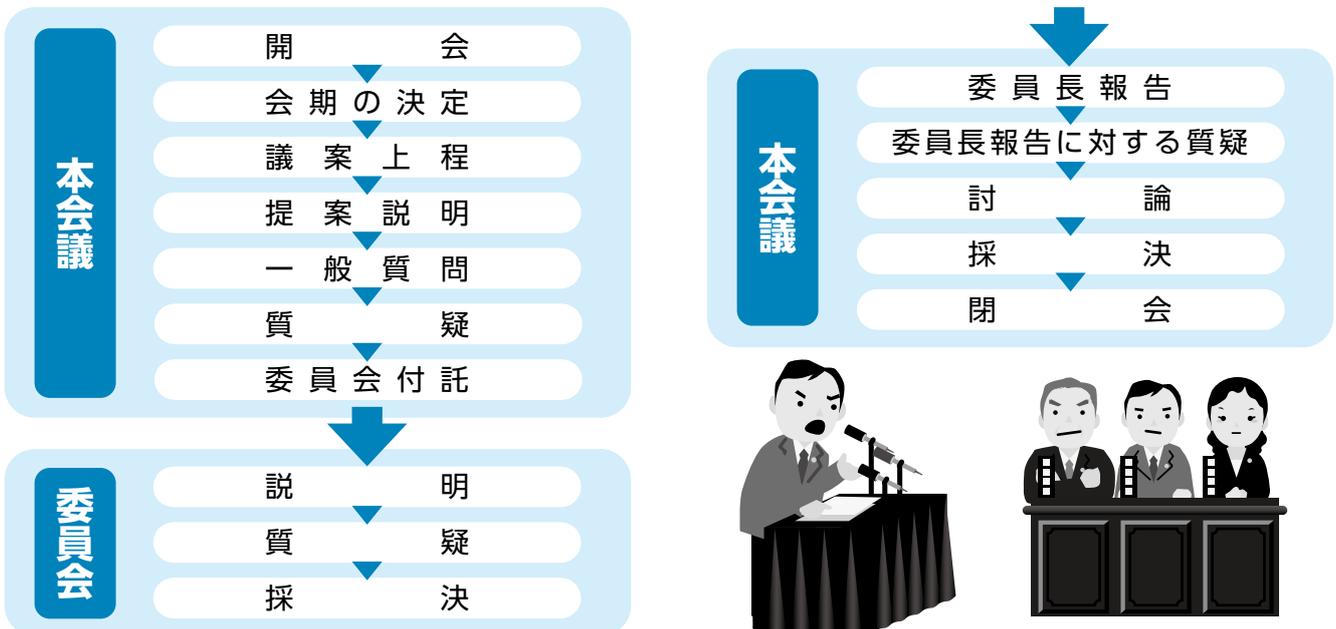
教育次 利用人数に応じた施設選択ができるよう通園区域を廃止し、子育て支援の充実を図るために幼稚園の預かり保育の運営形態を変更するなどしてきた。園児数については年々減少の一途をたどっており、現在3歳児の受け入れには余裕がある。

教育長 今は保護者のニーズや今後の動向を見極める時期だと考えている。

会議（定例会）の流れ

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、予算や条例等の市政を進めていく上で重要な事項を審議します。

会議の流れについての概要は、次のとおりです。



議員表彰

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会定期総会において、本市議会議員が表彰を受けました。

○議員特別表彰

香取 良勝

(議員20年以上)

○議員一般表彰

藤澤 健

中西 美治

(議員15年以上)

竹本 幸久

伊澤 誠

(議員10年以上)



傍聴へお越しください

(本庁舎3階)

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しください。

なお、次回の12月定例会は、11月24日に開会予定です。

会議の日程は、11月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会

検索

ご意見・ご感想をお聞かせください!

広報特別委員会では議会だよりについて、市民の皆さんのご意見・ご感想をいただき、今後の議会だよりづくりに役立てていきたいと考えています。



あて先 浅口市議会事務局

〒719-0295 浅口市鴨方町六条院中3050番地

FAX 0865-44-7009

Eメール gikai@city.asakuchi.okayama.jp

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ
☎0865・44・7744

表紙写真

天草公園ジャブジャブ池にはたくさん子どもたちが集まっています。噴水のまわりを走りまわったり、水をかけあったりと元気いっぱいです。暑い中、近くで見守る親たちとは対照的に、子どもたちは気持ちよさそうに水遊びを楽しんでいました。



広報特別委員会

委員長 伊澤 誠
副委員長 佐藤 正人
委員 沖原 有美
石井由紀子 山下 周吾
中西 美治 藤井 立子

